

【第2回 佐賀県鳥インフルエンザ対策本部会議】 11月25日

農林水産部長／中部家畜保健衛生所では、リアルタイム PCR 検査とコンベンショナル PCR 検査の2種類の遺伝子検査を行った。共に H5 亜型と判定できる鳥インフルエンザウイルスの遺伝子を検出。この検査結果を農林水産省に報告し、判定を依頼。疑似患畜決定の連絡を受け、本日、9時から殺処分等の防疫措置を開始。

疑似患畜決定に伴い、制限区域を設定。3 km以内は、農家から卵、鶏の移動を禁止する移動制限区域。3 km～10 kmは、この範囲外に卵、鶏の持ち出しを制限する搬出制限区域。

区域内の農場リストを作成。移動制限区域内には、発生農場以外の農家はない。搬出制限区域内には、12農場があり、昨夜から移動の自粛を連絡済み。

昨夜から県庁職員を72名動員、鹿島市7名、JA3名、建設業協会8名、合計90名が現地の農場で待機、殺処分の準備作業中。動員者数は、現地対策本部、サポートセンターなども含め184名。

- ・ 県内すべての養鶏農家へ周知、注意喚起を行い、消毒の徹底依頼を実施中。
- ・ 家畜伝染病予防法による知事の消毒命令を発出する。期間は、令和6年1月31日まで。
- ・ 県内すべての養鶏農家に消石灰を本日から配布。速やかに配送するよう準備中。
- ・ 県内6か所に消毒ポイントを設置予定。畜産、一般車両の消毒ポイントが4か所、一般車両のみが2か所、決定次第連絡する。
- ・ 本日から鳥インフルエンザ相談コールセンターを設置。25日、26日は9時から22時。その後の平日は、9時から17時。

採卵鶏はケージに鶏が1羽ずつ入っている。今回の処分対象は、鶏だけでなく卵も含まれる。

南里防災監／昨夜から準備を開始。1チームが25人の3班体制をとり、農場で待機中。指示があり次第、作業に着手する。

基本的には、焼却処分の対応をとる。状況の変化も想定し、柔軟に対応したい。

知事／焼却処分は初めて。状況を注視し、埋却処分も視野に入れながら、現場で対応してほしい。

松尾市長／現場近くの鹿島港湾では、漁協の冷凍網の入港が始まっている。その調整と地元への説明会が、現在行われている。地元への対応は、市でサポートする。

県土整備部長／消毒ポイントは、畜産車両、一般車両の交通状況、交通量を勘案し、設置箇所を選定中。早朝から現地確認、土地を借りる関係者との調整、資材の搬入など消毒開始に向け、建設業協会の協力を得ながら準備を進めている。

健康福祉部長／午前3時からサポートセンターで健康管理班の立ち上げを準備中。防護服の脱着指導や救護担当に保健師等に28名を派遣。鹿島市からは、保健師1名、サポートセンター運営に保健師以外9名の支援をいただいた。

現在、体調不良者はいない。業務終了後は、心の電話相談のチラシを配布し、何かあれば相談するよう声をかける。

県民環境部長／感染した鶏肉、鶏卵が市場に流通して店頭に並ぶことはない。県民の皆さまには、店頭にあるものは安心して購入していただきたい。

本日から、県内のスーパー等を巡回し、風評被害につながる不適正表示がないか監視活動を行う。来週からは、県内のスーパーを担当者が週1回訪問し、鶏肉、鶏卵の価格の動向、売行きについてヒアリング調査を行う。

警察本部長／消毒ポイントの場所が決まり次第、本部と関係する警察署による流動警戒を24時間体制で行う。

落合副知事／殺処分をする農場の作業環境は？

南里防災監／昨年と比べると、作業は行いやすい。前回の豚熱の際より、比較的スムーズにいくと考えている。

佐賀地方气象台／26日にかけて冬型が次第に緩み、高気圧に覆われる。雲が多少広がる程度で、おおむね晴れ。

25日の日中の気温は14～15度。26日の最低気温は、鹿島市で1～2度。日中は風も弱く晴れ、最高気温は16～17度。25日の風は、日中は北から北東の風が5～6m、夜から朝にかけては、5m以下となる見込み。

26日の明け方、霜注意報が見込まれる程度。

知事／サポートセンターの暖房は？

司会／暖房器具を置いている。

知事／疑似患畜決定の連絡により、25日9時から殺処分を開始する。

今シーズンでは、全国で初めて。これまで、佐賀県の鳥インフルエンザは3回発生。いずれも1回で封じ込めに成功した。発生農場からウイルスを出さなかった。初動が重要だ。

今回は、初めての焼却処分。現場の状況に応じて、埋却処分を取り入れるなど、臨機応変に対応してほしい。

県職員、建設業協会、JAなど関係団体の皆さんには、豚熱に引き続きご協力いただき、改めて感謝申し上げます。今回は、自衛隊の災害派遣要請は行わない。

全養鶏農家に対し消毒命令を発出する。消毒用の消石灰を緊急配布する。養鶏農家の皆さんには、防疫体制を強化し、異常があった場合は、早期の通報をお願いする。

県民の皆さんには、冷静に対応いただいている。

これまでの経験から、本日中におよそのめどが立つのではないかと。現場の皆さんと共に協力して取り組みたい。